六甲山牧場

今年生まれた子羊に会える

六甲山も少しずつ緑に色づき、暖かな日差しが気持ち良い季節に。六甲山牧場では４月18日まで、春のイベント「スプリングバンケット」を開催している。

３月28日は飼育員の解説を聞きながら牛舎をめぐる乳牛ガイドツアー「レッツモーモーガイド」を企画。４月３、４日には絶景ポイントをヤギと一緒に散歩する「夕陽ヶ丘でヤギとおさんぽ」。同10日には羊毛についてのクイズや実験、クラフトが楽しめる「ニッケウールＬＡＢＯ」を行う。

４月17、18日には年に１度の大イベント「羊の一斉毛刈り」を予定。飼育員たちが羊を座らせ、バリカンで次々と毛を刈っていく様子は一見の価値あり！　牧場の羊たちの毛からマスコットをつくるウールクラフト体験も人気だ。

今年生まれのかわいい子羊に会いに来て～

今年生まれの子羊たちも、３月20日から公開が始まっている。春の六甲山牧場へレッツ・ゴー♪

同牧場☎078・891・0280

六甲山ビジターセンター

ガイドの案内で自然探索

六甲山ビジターセンター・ガイドハウスでは、六甲山の魅力を発信し、山の歴史、自然、生き物などを映像やパネル、剝製や模型で紹介している。休憩や研修の場としても利用できる。

「自然探索ツアー」は六甲山の自然に詳しいガイドの案内により、季節の花や生き物など六甲山の自然に触れながら、１時間ほど散策する。毎週土・日・祝日の午前11時と午後１時半に六甲山ガイドハウス集合。無料。申し込み不要。

季節の花や生き物と触れ合う「自然探索ツアー」

昨年オープンした「自然体験シアター」では、六甲山の森林や滝、眺望など雄大な景色を正面、左右、底面の４面サラウンド映像で紹介。自然な音と臨場感あふれる映像に包まれたバーチャル体験を楽しむことができる。この春、須磨アルプスコース、六甲山ゾーン（東お多福山）の映像を追加。無料。

なお、４月からビジターセンターの開館時間が変更になる。４～11月＝午前10時～午後３時（土・日・祝は午後４時まで）▽12～３月＝午前10時～午後３時（金・土・日・祝日のみ開館）。詳しくはホームページで。同センター☎078・891・0616

神戸市立森林植物園

新緑の中、咲き誇る花

３月中旬から４月上旬の六甲山は花の季節。神戸市立森林植物園には桜やコブシのほか、薄紫色をしたカタクリの可憐な花が咲き誇る。

その後、萌黄色の新緑の中、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ、モチツツジなど32種類のツツジのほか、ツクシシャクナゲ、アズマシャクナゲなど７種類の日本原産種のシャクナゲも次々に開花。色鮮やかに華やぎを見せる。

４月17日～５月16日の期間は「新緑　つつじ・しゃくなげ散策」と銘打って、無休で営業する。開園時間は午前９時～午後５時（入園は午後４時半まで）。

陽光を受けて輝くコバノミツバツツジ

さらに期間中の土・日・祝日には、爽やかな風の中、自然と触れ合える新緑の園内散策会やネーチャーゲーム体験、森林浴ヨガをはじめ、植物について学べる講座など、季節感あふれるイベントが行われる。同植物園☎078・591・0253

六甲大学

ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

山の四季便り

根岸真理が案内

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

山でケガ まさかのヘリ搬送

119番通報→上空と地上から隊員→つり上げ病院へ

ケガや急病で助けが必要なとき、街中なら119番に電話すれば、あっという間に救急車が来てくれる。だが、車道から離れた山の中ではそうはいかない。長年登山を続けてきた筆者は、常に「事故が起きたら」ということを意識していたが、まさか自分が要救助者になるとは…。恥を忍んで、その顛末を記す。

２月末の土曜日、山頂部には積雪があり、今季最後かもしれない雪景色を見ようと最高峰へ。有馬へ続く「魚屋道」を下り始めて約15分。急な斜面が凍っており、「危ないな」と思った瞬間に足を滑らせた。

右足首に激痛が走り、しばらくうずくまっていたが、風が強く、じっとしていると体温が奪われる。地面に尻をつけた状態で、片足と両手を使ってずり下りることにした。安定した場所までなんとか移動したものの、自力下山はまず不可能だ。迷わず119番で救助要請をした。

骨折の経験はないが、折れていることはわかった。出血性の外傷はなかったので、応急処置より保温を優先し、着られるものをすべて身につけた。通報から15分ほどで「現場に向かっている。着衣の色は？」とコールバックがあり、程なくヘリが上空へ。指示された通りに、持っていたピンクの防寒着を振り回して合図。２度目の接近で発見してもらえた。

ヘリから降下した隊員と前後して、最高峰直下から駆け付けた地上隊も到着。まずは背負い搬送で、ヘリでつり上げができる場所へ。続いて、つり上げ用のハーネスを装着、航空隊員に抱えられるようにヘリの機内へ。ポートアイランドの救急病院までは、わずか5分足らずだった。

たった一人の負傷者のために、数十人の救急隊員の方が山道を走り、駆け付けてくれた。一人で負傷し、不安な山中で、どれほどほっとしたかは言うまでもない。テキパキと統率の取れた動きで救助に当たってくれた神戸北消防署のレスキュー隊だが、その後も続いて出動案件が控えていたようだった。

「まさか自分が」とは、誰もが思うこと。私自身、慎重な性格で、これまで大きなケガをしたことは一度もない。幸い今回は、足首の単純骨折で、ギプスによる固定だけで済んだが、一瞬の油断が重大事故になり得ることを痛感した。万が一のとき、六甲山には非常に頼りになるレスキュー隊がいてくれることは本当に心強い。神戸市消防局の皆さん、本当にありがとうございました。

神戸市消防局によるレスキューデモ。気象条件などでヘリが飛べないことや、地形や植生により接近できない場所もある

この日、うっすらと雪化粧した六甲最高峰（標高931メートル）には多くのハイカーが訪れていた

六甲山地と周辺の約800カ所に設置されている「つうほうプレート」。この番号を伝えればピンポイントで場所を特定してもらえる

▲救助要請時の注意点▲

- 場所を正確に伝えるため「つうほうプレート」を日ごろから意識して見ておく
- 119番に救助要請をした後は携帯電話を使わず、コールバックに備える
- 予備バッテリーを携行する
- 家族や友人に行き先を知らせておく

芸術学部

◆演奏家のいないコンサート“Musical！”　５月12日まで（毎週木曜休館、４月29日のみ開館）10時半～16時半の毎時30分から各回約15分間、六甲オルゴールミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」、４月１日から「ミュージアム前」）。「オペラ座の怪人」や「美女と野獣」などの人気のミュージカルの中から、なじみのある楽曲を大型のオルゴールや手回しオルガンなどの自動演奏楽器で演奏する＝**写真**。無料。（別途入園料1050円、４歳～小学生530円）。同園☎078・891・1284

文学部

◆摩耶山開運八ヶ所巡り　６月30日まで、「摩耶ケーブル駅」「虹の駅」「星の駅」「オテル・ド・摩耶」「摩耶山天上寺」「市立自然の家」「六甲山牧場」「市立森林植物園」の８カ所。monte702（星の駅２階、11時開店）で「摩耶山開運八ヶ所巡り御朱印手ぬぐい」を購入して８カ所のスポットを巡り、御朱印を集めて開運手ぬぐいを完成させる＝**写真**。全部集めて摩耶山天上寺に行くと満願の御朱印がもらえる。手ぬぐい代888円（別途各施設の入場料）。monte702☎078・882・3580（火曜定休）

環境学部

◆沖先生のぶらぶら園内ガイド　４月10日11、14時（各回１時間程度）、六甲高山植物園西入口集合（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」から徒歩約５分）。元神戸薬科大学薬用植物園職員の沖和行さん＝**写真**＝によるガイドで、薬草を中心に観察する。外見だけではわからない植物の秘められた魅力を学ぶ。定員30人（予定）。入園料700円、４歳～小学生350円。同園☎078・891・1247

総合学部

◆４月のミントサロン「プロセスチーズのすべて　その歴史から楽しみ方まで」　４月20日19～20時、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。プロセスチーズの特徴や歴史、栄養や楽しみ方について話す。講師は六甲バター株式会社マーケティング部の黒田浄治さん。無料。先着25人。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）かファクス（078・360・5514）へ申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局　神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp